

二ツポン

ドクター和の



臨終回 卷

最近、よくこんな質問を受ける
ようになりました。

「長屋先生、老老介護で、夫か妻の介護をするのは、日本の男には無理があるのでないですか」
なんとも言えません。夫婦の形は百人百様。「できる人もいればできない人もいます」と答え

在宅医療の現場において、戸惑っている夫に聞かれては「お試しで1、2週間やってみたら？」それで駄目なら施設入所を考えましょう」とお話しすることも多いです。それまで妻を冷遇していた

16 砂川啓介



お二人の間に
子供はいなかつ
たそうです。し
かし、子供がい
ないことと老老
介護リスクは、
あまり関係ない
ようにも思いま
す（むしろ子

川啓介さんは80歳でした。

大山のぶ代さんよ
れた夫で俳優の砂

さらすれば、老老

高齢化社会となつてから、このことも少な

一、
二、

ご近所にはもち
とも話す」じがで
りてしまつ。

供がいる方が介護生活がややこしくなる場合も)。のふ代さんがアルツハイマー型認知症と診断されたのは2012年の秋。有名人夫婦ということもあり、下の仕事まで、皆さんが

供がいる方が介護生活がややこしくなる場合も)。のぶ代さんがアルツハイマー型認知症と診断されたのは2012年の秋。有名人夫婦ということもあり、下の仕話まで、齊介さんが

て、たった一人の身内。俺が頑張らなきやいけないと思った

と後から振り返っています。
しかし15年、親友の毒蝮三太夫

さんから「老老介護を甘く見るな。このままでは啓介のほうがまいいちまつ」と言われ、公表を決意。本まで出版しました。

公表をしたことで、自分が妻の認知症を素直に受け入れられるようになったと語っています。

砂川さんは13年に初期の胃がんが発覚、手術をしました。16年には尿管がんを発症。「妻より先に逝けない」と言い続けながら治療を受けましたが、7月11日、帰らぬ人となりました。

どれほど心残りがあったことでしょう。しかし多くの夫に勇気を与えてくれたことは確か。介護はどうか、一人で抱え込まないで